

より開かれた説明会と正確な情報開示を行い
「市民が主役の公園づくり」を求める請願

請願要旨

今年3月の議会において、野津田公園のスケートパークと公園南口転回広場の基本計画が承認されました。私たち野津田公園を愛する市民有志は、これらの計画決定の進め方に大きな疑問を感じ、オンラインによる署名を始めました。短期間にもかかわらずこれまでに6000筆(5月20日現在)を超える署名が集まり、共感の和はますます広がっています。

さて町田市が2023年に策定した「町田市公園利用推進計画」の基本方針に「市民による公園づくり」が謳われています。公園運営の主役が公園利用者となることを目指した市民参加型の運営が掲げられ、私たちもその趣旨に多いに賛同するものです。

ところがスケートパークと南口転回広場の説明会では、この基本方針に全くそぐわないものでした。

1. 住民の意見を十分に聞こうとしない姿勢

私たちは以前より、説明会の周知を市民全体に対して実施するように求めてきました。しかし行われたふたつの説明会は、いずれも平日の夜の一回だけ。周知も町内会長や学校・施設のみ、市の広報やホームページに予告はありませんでした。このことについて公園緑地課は「慣例に従っただけ」と説明しています。このような硬直した姿勢は、市民参加型の運営とは程遠いものです。

2. 「計画ありき」の姿勢

説明会において公園緑地課は、これらの計画は「野津田公園第二次整備基本計画」に基づいているものであり、説明会によって変更はありえないことを繰り返し言明しました。このように「計画ありき」では住民の理解は得られないばかりか、少しでも公園を良くしたいとの思いを持って、時間や労力を割き、夜おそい説明会に参加している人たちを無視することです。市民目線が加わってこそより良い施設ができるものと考えます。

3. あまりにも偏った情報の開示

南口転回広場の説明会では、出席者から説明会の対象範囲、周知の方法等について多くの意見や要望が出されたにもかかわらず、発表された議事要旨にはそのことがまったく触れられていません。住民説明会で話された議論は市民の共有の財産であり、情報の開示は、民主的な市政の基本です。

町田市は2015年度より旧来の事業仕分けに代えて「町田市市民参加型事業評価」を行っており、市民目線で市の事業を評価しています。2024年11月に行われた「町田市市民参加型事業評価」では、初めて都市公園事業への評価が行われました。そこで「昨今、まちづくりや市民生活において、都市公園のあり方が重要視されてきているため、市民のニーズや市民の利用を第一に考え、市民が主役の公園づくりを進めてほしい」と問題点を指摘し

ています。残念なことに今回の2つの説明会は、この「町田市市民参加型事業評価」をまったく無視したものと云わざるをえません。

これらのことを真摯に反省し、真の「市民による公園づくり」になるように以下のことを要望致します。

請願項目

1. 多くの人が参加できる時間や場所、そして市の広報やホームページにて周知するなど、より開かれた説明会を目指してください。
2. 情報をできるだけ公平に開示し、説明会で出された意見要望を、市側だけで判断せず、市民とともに検討する場を設けてください。
3. 上記にそって、先に行われた野津田公園スケートパークと南口転回広場の説明会をやり直し、協議を徹底してください。